

学校通信

ひがしやま 第16号

発行日 令和7年6月10日(火)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○別府市中学校総合体育大会テニスの開催について。

・6月7日(土)別府市営公園テニスコートで開催されました。出場した4名(シングルス2名、ダブルス1組)の選手は、優秀な成績を納め、全員県総体出場を勝ち取りました。

保護者の応援(声は出せませんが)を受け、試合中、私と目が合って、笑顔がでるあたりは、日頃の練習成果が発揮できたのかなと思います。

県総体では、技術力や集中力の面で、さらなる成長を期待しています。6月9日(月)朝、私を見るなり、「校長先生、勝ったよ！」見たよ。聞いたよ。知ってるよ。♪♪♪



★★

○大分県教育庁別府教育事務所訪問(第1回)の開催について。

・年2回、各教育事務所(県内6教育事務所)の所長以下職員が、管内の公立小中学校を巡回し、学校経営方針、授業、人事などについて、助言や意見交換等を行っています。本校は6月9日(月)に行われました。

様々な学校の状況を聴取するとともに、県教委の施策に反映させる側面もあります。

★★

○歯と口の健康図画ポスターコンクール表彰式の開催について。

・6月8日(日)別府市公会堂で開催されました。本校からは、昨年度に引き続き、6年生1名が表彰されました。

主催者(別府市歯科医師会)あいさつで、「数年前のポスターは、虫歯で子どもが泣いている、あるいは歯に穴が空いている口内の構図が多かった。今は歯磨きやフッ化物洗口などの効果により、絵のほとんどが、歯を守り、維持することの大切さに変わった」と。



文部科学省が毎年実施する学校保健統計調査の結果では、大分県の12歳児の虫歯本数は、2024年度には平均0.9本(かなり減ったと思いますが)で、全国でワースト2位となっています。これは、全国平均の0.53本を大きく上回る数字。丁寧な歯磨きの習慣化などにより、子どもたちの将来にわたる歯の健康を守っていきましょう。